

地域住宅生産者グループ

ファーストホーム復興住宅の会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
『いぶきの家』	相双・いわき

グループの特徴とメッセージ

代表会社株式会社ファーストホームは長年地域に密着したビルダーとして実績があり、土地の販売、仲介、製材、設計、施工や住宅の建設に必要な手続きの代行を1社にて対応しております。今回はそれを基本とし住宅の建設に必要なと思われるすべての業種に対して さらに広がりのある連携を目指し、窓口の一本化により建築主の利便化の向上、資材準備や搬入の効率化、人的な応援体制確立により供給量及品質の更なる向上を目指します。

グループの基本情報

グループ名称	ファーストホーム復興住宅の会
所在地	福島県いわき市四倉町上仁井田字南姥田 8-1
結成年月	2012年1月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計23社 原木供給 : 3社 製材 : 3社 建材流通 : 2社 プレカット : 1社 設計 : 6社 施工 : 2社 その他 : 6社
代表者名	水野谷秀幸(株式会社ファーストホーム代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等 (※グループ内構成員受賞歴)	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年長期優良住宅先導事業採択(実績1棟) 東日本大震災における福島県応急仮設住宅建設(実績約200棟) 建築主税金相談会(年1回)

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	900~1,430万円
価格の基準面積	92.74㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績(年間)

建設戸数*(木造戸建)	85戸
うち地域材活用の住宅	85戸
うち長期優良住宅	2戸
グループとしての施工実績	なし
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	100戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	500万円以上の大~中規模リフォーム工事を4戸程度受注(年間)

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	桜庭 学	メール	m.sakuraba@first-home.jp
電話番号	0246-32-6022	FAX	0246-32-7022
ホームページ	http://www.first-home.jp/		
自由記入欄			

地域型復興住宅

『いぶきの家』

地域型復興住宅のイメージと特徴

■ コンパクトでも多様に対応できる家

- ・コンパクトな住宅で 基本プラン+ソーラーシステム等を付加できる住宅とします。住まい手のニーズや変化に対応できる「家族共に成長できる家」目指します。
- ・外観形状はソーラーシステム等の付加可能な形状で統一し施工性向上により量産効果を高めローコスト住宅を目指します。内部間取りはバリエーションを持たせた、改築も容易な構造とします。

■ 県産材を中心に癒し効果の高い木の香りのする住まい

- ・使用木材を県産材 100%とします
- ・構造材である 柱、梁は県産材の杉材、土台は県産材の桧材を使用します。
- ・床材は県産材の杉無垢材を使用します。



平屋建てプラン



2階建てプラン



平屋建て外観イメージ



2階建て外観イメージ

代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：46.37 m ² 2階：46.37 m ²
設計	三春設計舎	施工	株式会社ファーストホーム
施工費	1,430 万円（設計費用は除く）	備考	2階建てプラン、ソーラー組み込

設計方法や地域材活用に関する特徴

■多様な生活パターンに対応

- ・コンパクト住宅ですが 2F床剛性を高め構造耐力壁を極力外部で確保し内部の間仕切り壁を移動や撤去しやすくします。構造はなるべく単一化して耐震等級3を目指しますが、内部間仕切り壁は自由に配置でき 将来の改築等も容易に対応することができます。
- ・使用木材を県産材 100%として癒し効果の高い木の香りのする住まいを提案します。

主に活用している地域材について

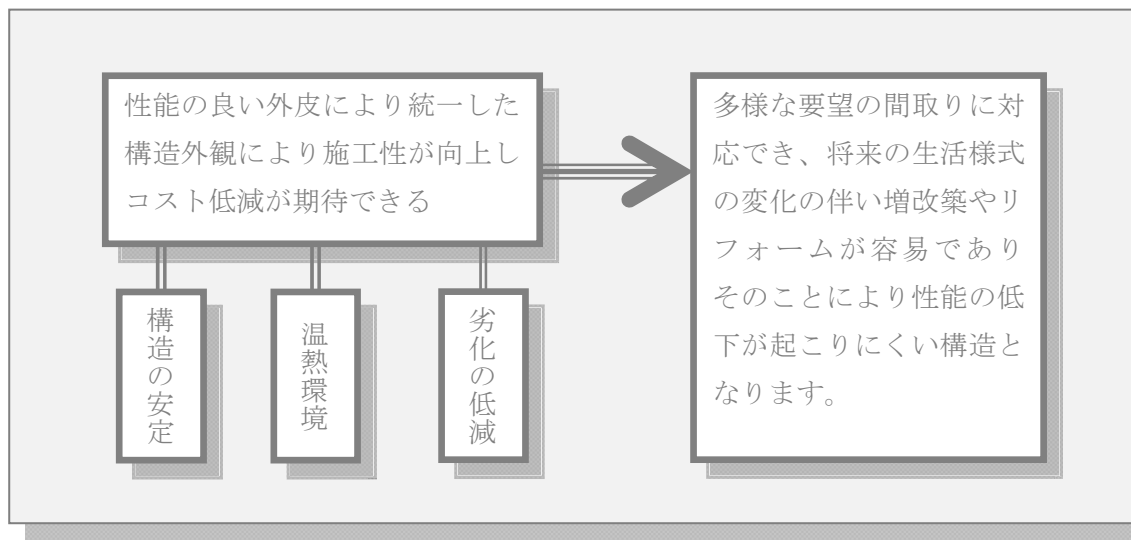
地域材の名称	福島県産ブランド材 とってお木 他福島県産材
樹種	杉、桧
産地	福島県
認証制度等	福島県産ブランド材認証制度
主に取扱う材種	無垢材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では福島県産材を 100%活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■高性能な外皮により高い性能の家

外皮の性能を高めることで各性能の高い家を目指します。

- ・性能表示の温熱等級4等級を標準とした断熱性能の高い省エネ住宅で、開口部サッシは Low-Eペアガラスを標準にし、さらに高い断熱性能を確保します。
- ・構造の安定等級は3等級としており、全物件許容応力計算で対応し、耐震性を確認します。内部間仕切り壁は極力可変できるものとし 将来のリフォーム、増改築を容易に行なえるようにします。
- ・劣化の低減等級も最上級をとし、耐久性の高く合わせて維持管理のしやすい 長く住むことかできる家を目指します。



地域住宅生産者グループ

ファーストホーム復興住宅の会

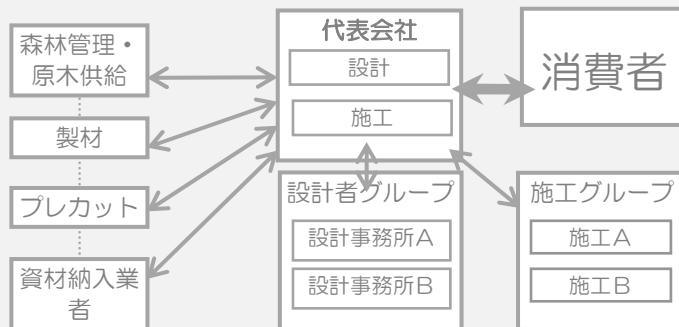
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■ IT活用により広いネットワーク

・当グループはITなどを活用した緩やかな連携ですが、住宅建設に必要と思われるさまざまな業種の連携を目指しております。これにより早い情報の発信、共有などにより、事前の準備、調整、分散等が行いやすくなり、実際の作業施工がスムーズにロスなく行なわれることが期待できます。



ファーストホーム復興住宅の会 ネットワークイメージ



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■ 窓口一本化により利用者の利便性の向上

・住宅建設に必要なすべての手続き窓口の一本化により建て主の利便性を図ります。各連携業者との連絡体制を整えスムーズでロスのないシステムを構築します。

・代表会社ファーストホームは各金融機関と提携を進めており手続きだけでなく金利の優遇なども受けることができる体制となっております。

・一般ユーザー向けに減税相談会や優遇措置などの説明会などを行っておりタイムリーな情報を発信しております。

・住宅情報等の電子化を進め、住宅履歴の保管管理を容易にしてアフターサービスの対応力の向上を図ります。

